



発行 福島市議会  
編集 福島市議会事務局

福島市五老内町 3 番 1 号  
電話 (024) 525-3776  
F A X (024) 534-2520

<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/gi-soumu/shise/shigikai/>  
福島市議会 検索

Vol.192



## 目次

- 9月定例会議のあらまし…… 1
- 議会報告会・意見交換会…… 1
- 9月定例会議一般質問…… 2
- 9月定例会議議決結果…… 5
- 請願・陳情の審議結果…… 5
- 同意した人事案件…… 5
- 決算特別委員会の概要…… 6
- 委員会活動…… 7
- 議会ホームページのご案内…… 8
- 各種検討会の設置…… 8

## 9月定例会議のあらまし

### 平成29年度補正予算などを可決、平成28年度決算を認定

平成29年9月市議会定例会議は、9月1日から22日までの22日間にわたり開催されました。

定例会議初日には、平成29年度一般会計補正予算や平成28年度各会計歳入歳出決算認定の件など議案22件及び報告7件が市長から提案されました。

7日から4日間にわたり行われた一般質問には15人の議員が登壇し、提出された議案並びに市政の諸課題に関する質問がなされました。

12日には、決算関連議案を審査するため、決算特別委員会が設置されました(6、7ページに決算特別委員会の関連記事を掲載しています)。

最終日の22日には、各委員長報告、討論、採決が行われ、提出された議案については、いずれも原案のとおり可決、または決算認定しました。

また、追加議案として市長から提出された人事案件について原案のとおり同意しました。

その後、議員から提出された意見書案について、原案のとおり可決しました。

なお、提出された議案及び議決結果は5ページに掲載しています。

## 平成29年 秋季

### 議会報告会

議会で取り組んでいる活動を報告します。

第1部

### 意見交換会

第2部

参加者の皆様に意見を伺い、議会活動に生かします。

【開催日時と開催場所のご案内】

11/5 (日)	午前10時▶午前11時30分 飯坂支所	11/6 (月)	午後1時30分▶午後3時 杉妻学習センター
	午後6時30分▶午後8時 三河台学習センター	11/9 (木)	午後7時▶午後8時30分 西支所

どなたでも参加できますので、ご都合のよい会場にお気軽にお越しください。



前回の議会報告会の様子

### 副市長の定数増に関する 条例改正案を可決

副市長定数条例により、現在、本市の副市長の定数は1名となつていますが、来年4月に予定されている中核市移行に伴う重要課題や多様化する行政課題に迅速に対応するため、副市長の定数を1名から2名に増員する条例改正案が、定例会議初日に市長から提案されました。

本議案は、付託を受けた総務常任委員会が審査が行われ、副市長が2名になった場合の財政負担について、2名の副市長の職務分掌について等の質疑がなされました。

定例会議最終日には、本会議にて採決が行われ、その結果、本議案は賛成多数により可決しました。



# 「こころ」が聞きたい 一般質問

一般質問とは？  
それぞれの議員が、市民の皆さんの生活にかかわる身近な市政の課題に対して行う質問をいいます。

## 行財政

### 市長直通便について

**問** 市長直通便で寄せられた意見に対する検討状況を市民へ伝える仕組みづくりが必要と考えられるが、提案についての精査、検討プロセスを含め、見解を伺う。

根本 雅昭

**答** 市長直通便として市民から寄せられた意見は、市長が全て確認した上で、施策として生かせるかどうかなどを検討し、速やかに文書等で回答している。  
提案についての精査、検討のプロセスについては、状況に応じて現場調査を行うほか、関係部局が協議の上、市長と直接検討を行っている。  
回答後の検討状況のお知らせ等については、調査、研究していく。



市長直通便

### 日本非核宣言自治体協議会への加盟について

**問** 中核市である郡山市やいわき市は、日本非核宣言自治体協議会に加盟しており、本市も加盟すべきだが、見解を伺う。

村山 国子

**答** 本市においては、世界の都市が緊密な連携を築き、核兵器の廃絶や人類の共存を脅かす諸問題の解決等により世界恒久平和の実現に寄与することを目的とした、平和首長会議に加盟している。

日本非核宣言自治体協議会の加入については、協議会の事業内容や他自治体の加入状況等を含めて検討し、判断する。

## くらし・安全

### 消防団計画について

**問** 人口減少時代においては、消防団定員の維持や、より効果的な施設、装備が重要であり、消防団計画に期待する一方、団員削減、設備減少のための計画ではないかとの不安も聞かれるが、消防団計画の目的とその内容を伺う。

川又 康彦

**答** 地域防災に欠かすことのできない本市消防団が将来にわたり安定して持続していくため、地域の実情に応じた消防団員の確保や機能別消防団員の導入による分団組

織の充実、屯所・車庫や車両、装備等の長期間使用、消防団員の活動しやすい環境整備等の課題に対応し、必要な消防力を維持することを目的として、新時代消防団計画を策定する。



防災を担う消防団

## 産業・経済

### 旧米沢街道と李平宿の観光地としての活用について

**問** 歴史街道である旧米沢街道と李平宿の観光地としての活用に向けた取り組み状況について伺う。

大平 洋人

**答** 吾妻地区多目的休憩施設の関係者や郷土史協会の方々の協力を得ながら、街道の歴史と現地案内図を同施設に設置することを予定している。

また、街道文化への関心が高い方にとって興味深い資源であると認識しており、市観光コンベンション協会において、まち歩きのパンフレットにより旧米沢街道や李平宿の紹介を行っている。

## 環境・ごみ

### ごみ処理有料化の導入に向けた検討状況について

**問** ごみ処理有料化の導入は、ごみ減量に対する意識の向上や、

ごみの発生、排出の抑制効果が期待できる有効な施策の一つであり、導入に向けた検討状況について伺う。

阿部 亨

**答** 平成27年7月より、市廃棄物減量等推進審議会で、ごみ処理有料化の導入について、9回にわたり審議がなされ、昨年11月に、「有料化ありきではなく、ごみの減量化・資源化への意識の啓発が図られるよう、また、有料化以外の施策の展開にも最善を尽くすよう市に望む。今後は、市民の意見を幅広く伺いながら当審議会で検討を進める。」という中間答申をいただいた。  
市としては、ごみの減量化等に係る市民アンケート調査結果や各地区説明会の開催結果のほか、今後のごみ減量の動向などを審議会へ報告し、議論を深めることとしている。

### 放置自動車の処分について

**問** 一部の自治体では、条例・要綱等を定め、放置された自動車を廃棄物と認定し処分等を行っている。本市においても、放置された自動車の発見から処分まで速やかに行うことに関する条例・要綱の策定が必要だが、見解を伺う。

斎藤 正臣

**答** 放置自動車を速やかに処理するための条例・要綱等の策定については、既に策定している自治体の取り組み状況や成果・課題等について調査、検討していく。

**東京オリンピック・パラリンピックの受入態勢の充実に向けて**

**問** 観光客のおもてなしの観点から、花いっぱい運動などの環境美化活動について、助成の拡充を図るべきと思うが、見解を伺う。

石原 洋三郎

**答** 東京オリンピック・パラリンピックに向け、市が策定した「アクション&レガシープラン」では、市の魅力や特色を生かした様々な取り組みとおもてなしを实践することとしている。

環境美化活動は、市民が参画しやすい身近なおもてなし活動であることから、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会福島市推進協議会」において手法等の協議を進め、既存事業の更なる発展を目指したいと考えている。

**生ごみ処理容器購入費助成金制度による効果について**

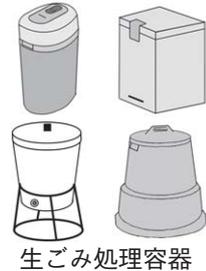
**問** 生ごみ処理容器購入費助成金制度実績における平成12年度と平成27年度の比較によると、助成基数、助成額ともに大きく減少しているが、生ごみがそのまま出されることによる増加量をどのように捉えているのか伺う。

二階堂 武文

**答** 生ごみ処理容器による生ごみの減量効果を推計すると、平成12年度は約1,470トン、平成27年度は約140トンで、その差は

1,330トンとなる。

この試算だけを比較すると、平成27年度においては、生ごみ処理容器の導入が減つたことにより、約1,330トンの生ごみが増加したと考えられる。



生ごみ処理容器

**福祉・健康**

**代理人による生活保護申請について**

**問** 代理人による生活保護の申請が認められず、申請することができなかった例がある。

生活保護法第7条に基づき、市は代理人による生活保護申請を受け付けるべきだが、見解を伺う。

小熊 省三

**答** 生活保護の申請は、本人の意思に基づくものであることを大原則としている。

生活保護の相談窓口では、制度の内容を説明し、相談者の理解を得ることが必要であり、相談者の状況を詳細に聴き取りし、他施策の活用が可能な方については、その活用について助言を行っている。

質問の件については、相談の結果、生活保護の申請に至らなかったものであるが、今後においても、丁寧な説明を行い、相談者に寄り添った対応を行っていく。

**認可保育所の入所決定日について**

**問** 保護者からは、4月より仕事を始める都合上、認可保育所の入所決定日を早めてほしいとの声がある。遅くとも2月中旬には決定できるように要望するが、見解を伺う。

小野 京子

**答** 事務スケジュールなどの見直しにより、平成30年4月の一次募集の入所決定については、前年度より10日程度早め、2月中旬頃に決定することで検討を行っている。



**高齢者の健康対策について**

**問** 70歳以上の高齢者の運動施設使用料の無料化について伺う。

山岸 清

**答** 高齢者の方の健康対策としては、介護予防体操の「いきいきももりん体操」を積極的に推進している。

これは、地域のみなさんが主体となり運営する憩いの場において取り組むことを基本としており、身近な集会所など、それぞれ工夫をしながら



いきいきももりん体操に  
取り組むみなさん

ら会場を探し活動しており、身近な場所に活動を行う集会所がない団体については、今後、公共の運動施設等の活用も案内しながら、さらなる取り組みを考えている。

施設使用料の無料化などの具体的支援措置については、今後、先進自治体の取り組みなども調査研究していく。

**まちづくり**

**立地適正化計画について**

**問** 全国的に、急速な人口減少、少子高齢化が予測されており、医療、福祉、子育て支援、商業等の都市機能の維持が将来困難になることが懸念されている。

そこで、立地適正化計画の策定の背景と目的を伺う。

後藤 善次

**答** 医療、文化、商業施設や住居等がまとまって立地し、高齢者をはじめとする住民が公共交通により、これらの生活利便施設等にアクセスできるよう、福祉や交通なども含めて都市全体の構造を見直し、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの考えで進めていくことが重要であり、行政と住民や民間事業者が一体となって、コンパクトなまちづくりに取り組んでいくことを目的として立地適正化計画を策定した。

■教育・文化

東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致について

**問** 野球・ソフトボール競技の事前合宿誘致について、本市はどのように取り組んでいるのか、海外への働きかけとその反応も含め、伺う。

鈴木 正実

**答** 本年6月に実施したソフトボール女子U-23日本代表チームの強化合宿受け入れをきっかけとして、ソフトボール女子日本代表トップチームの事前合宿誘致に取り組んでいるほか、中学生海外派遣事業で本市とつながりがあるオーストラリアのオリンピック委員会に対して働きかけを行っている。

具体的には、オーストラリアソフトボール協会の関係者が来日した際に当市に招き、県営あづま球場や十六沼公園スポーツ広場などを視察いただいております。本市の競技施設や練習環境に大変興味を持っていただいたと考えている。



廃校の積極的な利活用について

**問** 企業の誘致やスポーツの合宿、芸術・文化活動への貸出など、廃校の積極的な利活用を行うべきと考えるが、見解を伺う。

小松 良行

**答** 廃校施設の利活用については、「公共施設等総合管理計画」の基本方針に基づき、学校施設としての特性を生かし、芸術・文化、生涯学習等の教育施設、その他行政需要での活用のほか、民間事業者による利活用など、地元や関係部局と調整を図りながら、幅広い利活用について検討していく。



今年3月閉校の旧大波小学校

今後の市立小学校・中学校の適正規模・適正配置について

**問** 「今後の市立小学校・中学校の在り方について」の答申を受けての「適正規模・適正配置計画」の作成手順について、進捗状況を含め伺う。

沢井 和宏

**答** 市立小・中学校の統廃合を含めた適正規模・適正配置の制度設計については、全市的な視野に立ち、教育委員会において平成30年3月の策定を目的に進めている。制度設計後は、保護者及び地域住民との十分な協議を通し合意形成を図りつつ、よりよい教育環境の整備に取り組んでいく。

議会を傍聴してみませんか

市議会の本会議と委員会は、原則として公開でおこなっております。議会の傍聴は、



市政と議員の活動を知るよい機会です。ぜひお気軽にお越しください。

■本会議を傍聴するには  
会議当日に市役所7階、議事事務局前の傍聴受付において、傍聴券の交付を受けた後、議場へご案内します。

■委員会を傍聴するには  
本会議における一般傍聴席の定員は64名で先着順となります。

■委員会の傍聴券の交付を受けたい後、委員会室へご案内します。

委員室における一般傍聴席の定員は5名で先着順となります。

なお、同時に5名以上の方の傍聴希望がある場合は、抽選を行うことがあります。

■傍聴の際にご注意いただくこと  
ご入場時に携帯電話の電源を必ずお切りください。

また、お守りいただく場合がございますので、受付時にお渡しする「傍聴される皆さまへ」を一読ください。

本会議の傍聴に  
手話通訳者を手配します

手配をご希望の方は、次の必要事項を記載のうえ、ファクス等で福島市議会事務局へご送付ください。

◇申し込みの際の記載事項

- (1)氏名 (2)住所 (3)ファクス番号
- またはメールアドレス (4)本会議傍聴希望日及び時間帯 (5)手話通訳を必要とする人数 (6)待ち合わせ時間 (7)備考(〇〇議員の一般質問)など希望事項をご記入ください)

※なお、福島市議会ホームページから申込書をダウンロードできます。

詳しくは、福島市議会ホームページをご覧ください。

◇福島市議会事務局ファクス番号  
024(534)2520

◇手配の可否のご連絡等

手話通訳者の手配の可否について、ファクスまたはメールにてご連絡します。

手話通訳者

の手配が可能となつた場合、当日待ち合わせ時間までに、

市役所7階の議場前へお越しください。



本会議における手話通訳

平成29年9月定例会議 議決結果

○市長提出議案

区分	議案番号	件名	議決結果
平成29年度補正予算案	72~75	一般会計、水道事業会計、下水道事業会計、介護保険事業費特別会計	○
平成28年度決算案件	76	各会計歳入歳出決算認定	○
	77	水道事業会計決算認定及び剰余金処分	
	78	下水道事業会計決算認定	
	79	農業集落排水事業会計決算認定	
条例改正案	80	福島市副市長定数条例	○
	81	福島市職員の定年等に関する条例	
	82	福島市職員の給与に関する条例等	
	83	福島市立学校条例	
人事案件	94~97	公平委員会委員、固定資産評価審査委員会委員、土湯温泉町財産区管理委員、人権擁護委員候補者	○
その他	84	市道路線の認定及び廃止	○
	85	区域外路線の認定の承諾	
	86	工事請負契約 ・平成29年度土湯温泉町地区都市再生整備計画事業(仮称)まちおこしセンター整備建築本体工事	
	87~89	工事請負契約の一部変更 ・福島市新斎場整備事業造成工事 ・福島体育館・武道館新築工事(建築本体) ・(仮称)福島市保健所検査棟新築工事(建築本体)	
	90、91	財産取得 ・水槽付消防ポンプ自動車 水Ⅱ型 ・水槽付消防ポンプ自動車 水Ⅰ-B型	
	92	財産の減額貸付け	
	93	財産の無償貸付け	

○議員提出議案

区分	議案番号	件名	議決結果
意見書案	98	全国森林環境税の創設に関する意見書	○
	99	県及び市で管理する河川について記録的豪雨に対応できる河川構造に改良するために必要な財政支援を求める意見書	
	100	農業用ため池の放射性物質モニタリング実施と山間部等における基準値超の放射性物質対策工の実施を国に求める意見書	
	101	旧福島県立リハビリテーション飯坂温泉病院の跡地無償譲渡及び施設整備費用の援助を求める意見書	
	102	地方財政の充実・強化を求める意見書	
	103	日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書	

※議決結果欄について ○：原案可決、同意、認定 ×：原案否決、不同意、不認定

請願・陳情の審議結果

9月定例会議では、請願3件と陳情2件を審議しました。

新しく提出された請願・陳情

〈採択〉

■請願第6号

日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書提出方について

■請願第7号

日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書提出方について

■請願第8号

日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書提出方について

〈不採択〉

■陳情第9号

市営公衆浴場「切湯」の下水道接続問題について今後どう対応するのか示すことを求めることについて

■陳情第10号

日本政府へ核兵器禁止条約への参加を求める意見書提出方について

同意した人事案件

9月定例会議で提案された次の人事案件について、全会一致で選任及び推薦に同意しました。

◇公平委員会委員

紺野 淳 氏

◇固定資産評価審査委員会委員

菊池 祥恵 氏

◇土湯温泉町財産区管理委員

阿部 寿子 氏

◇人権擁護委員候補者

陳野原弘治 氏

可決した意見書

9月定例会議で可決した6件の意見書については各関係機関あて提出しました。

なお、提出した意見書の内容及び提出先については、市議会ホームページまたは、市役所1階市民情報室にてご覧になれます。



# 決算特別委員会

9月12日開催の本会議において、決算関連議案(※)を審査するため、議長及び議会選出の監査委員を除く全議員で構成する決算特別委員会を設置し、決算関連議案を付託しました。その後、本会議終了後に開催した決算特別委員会の全体会では、正副委員長を互選の後、各常任委員会を単位とする分科会を設置しました。

9月15日から2日間にわたり開催した各分科会では、市当局の説明を聴取し、慎重に審査を行いました。各分科会の審査終了後、9月20日には、決算特別委員会の全体会を開き総括質疑を実施、その後、各分科会長報告、討論、採決が行われ、決算関連議案は、いずれも決算のおおりに認定あるいは可決すべきものと決定しました。

◎決算特別委員会  
 ▲委員長▽山岸 清(市民21)  
 ▲副委員長▽萩原 太郎(真政会)

## 総括質疑から

9月20日に実施した総括質疑では、1名の議員が質疑を行いました。総括質疑における主な内容をご紹介します。

問 国民健康保険税収納率改善に向けた納税課と国保年金課の連携について伺う。

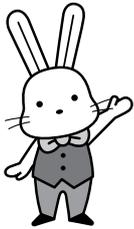
答 滞納の抑止と納期内納付のため納税課と国保年金課が連携し、口座振替の推進に取り組むとともに、加入資格管理を適正に行うこととしている。

問 平成28年度末における、市内の宿泊可能人数を伺う。

答 平成26年度調査における市内宿泊施設の収容人数は中心市街地等で約3,300人、温泉等の郊外エリアで約7,400人であったが、今年の3月に大規模ホテルが福島駅西口に開業したため、中心市街地等の宿泊施設の収容人数が約3,700人に増加しており、本市宿泊施設の収容人数の合計は約11,100人になったと捉えている。

(※)9月定例会議において提出された決算関連議案は次のとおりです。

- 議案第76号 平成28年度福島市各会計歳入歳出決算認定の件
- 議案第77号 平成28年度福島市水道事業会計決算認定及び剰余金処分
- 議案第78号 平成28年度福島市下水道事業会計決算認定の件
- 議案第79号 平成28年度福島市農業集落排水事業会計決算認定の件



## 決算審査の流れ

福島市議会では、9月定例会議において、前年度の決算を審査しています。



### ① 本会議(提案理由の説明)

市長より、9月定例会議に提出された議案の提案理由が説明されます。議案には、一般会計及び特別会計、公営企業会計の決算に関する議案が含まれます。

### ② 本会議(決算特別委員会の設置)

本会議において決算特別委員会の設置を決定し、委員を選任します。決算関連議案を決算特別委員会に付託します。

※決算特別委員会は、議長及び議会選出の監査委員を除く全議員(32名)により構成します。

### ③ 決算特別委員会(全体会)

正副委員長を互選した後、各常任委員会の所管と委員を同一とした分科会を設置し、各分科会に決算関連議案を付託します。

### ④ 各分科会における審査

分科会ごとに、各所管分の内容について詳細な審査を行います。

総務分科会

文教福祉分科会

経済民生分科会

建設水道分科会

### ⑤ 決算特別委員会(全体会)

各分科会審査の後、全体会において総括質疑を実施します。その後、委員長報告案を決定します。なお、状況により直接審査を行う場合もあります。

### ⑥ 本会議(委員長報告及び採決)

本会議において委員長報告を行い、他の議案と同様に決算関連議案の採決を行います。採決により、決算関連議案を認定とするか不認定とするかを決定します。

# 常任委員会 決算特別委員会分科会

本市議会には、総務、文教福祉、経済民生、建設水道の4つの常任委員会があり、定例会議における議案審査を行っています。  
また、常任委員会を単位とした決算特別委員会の各分科会にて決算審査を行いました。  
9月定例会議における主な議案審査及び決算審査の内容は、次のとおりです。

## 総務

当委員会に付託された議案審査のうち、福島市職員

の定年等に関する条例及び福島市職員の給与に関する条例等の一部改正に関する件については、中核市移行に伴い設置される保健所の長となる医師の職務と責任の特殊性及び採用による欠員補充の困難性などを考慮し、保健所の安定的な運営に資するために条例の一部を改正する旨の説明がありました。



保健所検査棟完成イメージ図

また、当分科会に付託された決算審査のうち、支所及び出張所費の工事請負費については、不具合の生じた西支所・学習センターの冷暖房設備改修工事や吉井田支所・学習センターの空調機改修工事を実施したものである旨の説明がありました。

## 文教福祉

当委員会に付託された議案審査のうち、小学校施設改修事業費(学校トイレ洋式化推進事業)については、

小中学校における洋式トイレの設置率が17・9%(平成29年4月1日現在)と全国平均の43・3%(平成28年11月文科省公表)と比較して、低い設置率となっていることから、更なる洋式化を推進することにより全国平均に近づけていく旨の説明がありました。

また、当分科会に付託された決算審査のうち、待機児童解消促進事業費については、保育所・認定こども園の創設や改修等による定員拡大、保育所と同様の保育事業を行う私立幼稚園に対する事業運営費の一部補助等により一定程度の成果を得ることができたものの、利用申込者が想定以上に増加したことや施設において十分な保育士の確保が進まなかったことなどから待機児童の解消には至っていない旨の説明がありました。



## 経済民生

当委員会に付託された議案審査のうち、土湯温泉町地区都市再生整備

事業費については、土湯温泉町の震災からの復興・再生のため、震災と原発事故の影響で廃業した旅館を活用し、地元住民と観光客との交流スペースなどを備えた観光交流センターを整備改修する事業費の増額補正を行うものであります旨の説明がありました。



観光交流センター外観図

また、当分科会に付託された決算審査のうち、出会いの場創出事業費については、少子化対策とし、独身男女の出会いを応援するためのマナー講座や講演会を取り入れた交流会を3回開催し、男性102名、女性83名の参加があったほか、主に結婚に関する相談を行うライフサポートを設置し、53件の相談があった旨の説明がありました。

## 建設水道

当委員会に付託された議案審査のうち、八島町地区暮らし・にぎわい

再生事業については、日本赤十字社福島赤十字病院の移転に伴う地上2階建て立体駐車場棟(約177台分)の整備に係る工事費補助であり、平成29年度から平成30年度にかけて実施される予定である旨の説明がありました。

また、当分科会に付託された決算審査のうち、地域振興施設整備事業費については、福島大笹生インターチェンジ周辺ループ内(面積約3ヘクタール)に整備予定の地域振興施設「道の駅」の整備推進に要した事業費であり、整備計画策定委員会を設置し、調査・協議を進め、魅力発信・交流・地域拠点の基本コンセプトとする基本構想を策定した旨の説明がありました。



福島大笹生インターチェンジ

各常任委員会に付託された議案審査及び各分科会に付託された平成28年度決算審査につきましては、市当局からの詳細なる説明を聴取し、慎重な審議を行った結果、いずれも原案のとおり可決または決算のとおり認定すべきものと決定いたしました。

**市議会ホームページを  
活用ください**

市議会の活動に関しては、市議会だより定期号を年4回発行し、市民の皆様にお知らせしておりますが、発行回数や紙面に限りがあるため、市議会だよりを補完する内容を市議会ホームページに掲載しています。

市議会ホームページには、今週の議会の動き(議会の活動報告)、本会議中継(録画中継及びライブ中継)、政務活動費の収支報告書及び領収書、委員会審査資料(審査終了後に掲載)など多くの情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

**市議会ホームページ URL**

<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/gi-soumu/shise/shigikai/>



9月13日(水曜日)

各常任委員会における審査を実施しています

9月12日の本会議にて付託された議案及び請願・陳情について、総務常任委員会、文教福祉常任委員会、経済民生常任委員会、建設水道常任委員会の各委員会ごとに詳細な審査を実施しています。各常任委員会における審査は、本日と14日の2日間にわたっておこなわれます。

**今週の議会の動き 議会の活動状況を随時掲載しています**

平成29年2月18日(土曜日)実施の意見交換会結果

当日は、多くの皆様にご参加をいただきまして、大変ありがとうございました。市民の皆様からの貴重なご意見をお聞きすることができました。

【意見交換会の様子】

**議会報告会、意見交換会**

議会報告会及び意見交換会の開催結果を掲載しています。また、開催のご案内を掲載します。

平成29年9月定例会議本会議の録画映像9月12日(火曜日) 1/2

**議会中継 本会議の録画中継及び生中継を公開しています**

**議会改革を推進するため  
各種検討会を設置しました**

**議会改革検討会**

議会改革を推進するための諸課題の検討及び議会基本条例施行状況の検証を行います。

座長 栗野 啓二(市民21)

副座長 白川 敏明(真政会)

委員 梅津 政則(市民21)

後藤 善次(公明党)

佐々木 優(日本共産党)

鈴木 正実(創政クラブ)

羽田 房男(社民党・護国連合)

**広報委員会**

市議会だよりや市議会ホームページなど、議会広報の充実に関する検討を行います。

委員長 栗野 啓二(市民21)

副委員長 村山 国子(日本共産党)

委員 萩原 太郎(真政会)

石原洋三郎(市民21)

須貝 昌弘(公明党)

根本 雅昭(創政クラブ)

沢井 和宏(社民党・護国連合)

**政務活動費検討会**

政務活動費の使途の透明性確保など、検討が必要な諸課題についての協議を行います。

座長 栗野 啓二(市民21)

副座長 梅津 一匡(社民党・護国連合)

委員 川又 康彦(真政会)

石原洋三郎(市民21)

丹治 誠(公明党)

小熊 省三(日本共産党)

阿部 亨(創政クラブ)

**12月定例会議の日程について**

12月定例会議は、福島市議会の会期等に関する条例により12月1日に開会しますが、11月に福島市長選挙が執行されるため、開会日以降の日程が未定となっております。会議の日程は決定次第、市議会ホームページ等でお知らせします。